

土木技術者が目指す、もう一つの夢

バンブーギターで地域貢献

竹の夢 大風呂敷に 包み込み

ギター製作者＋演奏者：前田剛志（技術士）

演奏者＋報告者：矢ヶ部輝明（技術士）



人物のご紹介

- 前田剛志（技術士（建設部門）、コンクリート診断士）69歳
（株）建設技術研究所、（株）パシフィックコンサルタンツ等を経て、現在、（株）高崎総合コンサルタントで技師長として勤務しつつ、バンブーギター製作者として活躍中
- 矢ヶ部輝明（技術士（総合技術監理部門、建設部門）、CSRリーダー） 62歳
長年勤めた（株）建設技術研究所を退職し、JCCAの共助研に賛助会員として所属して地域貢献活動等を行いつつ、小学生から始めた趣味のギターで、演奏会、高校ギター部の演奏指導等をおこなう。

建設コンサルタント業界で30数年間働いてきた 技術者二人がみるもう一つの夢

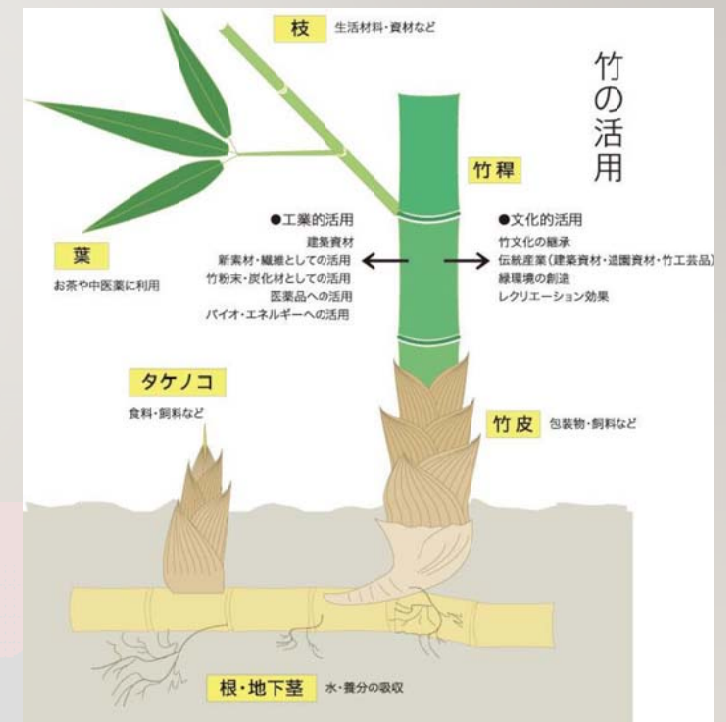
- それは、世界でも珍しい竹で作ったギターで、自分も楽しみながら「地域おこしを！」「ギターの音楽をみんなに」ということ。
- 還暦を迎えて、ギター製作を始めた前田氏と、同じく、還暦を迎えて、昔かじったギターを復活させ、世界で唯一(?)のバンブーギター・デュエット「デュオ・アルゲンテウス」を結成し、まずは、身近な場所でコンサート・ライブを行い、バンブーギターのPR活動を進めています。
- 「バンブーギターフェスタ 2013 in 八女」、福岡大学での「竹の祭典（竹イノベーション研究会主催）」をはじめ、東京、大阪のギターフェスティバルで、前田氏の師匠中山修氏のギターとともにバンブーギターを展示しています。

「竹」は、日本固有の文化を支えてきたのに、 いまでは、厄介者に・・・

私たち日本人と竹の関わりの歴史は古く、縄文時代の遺跡から竹を素材とした製品が出土しています。農業・漁業などの生業、日用品としても、竹はごく身近にあって、軽くて加工性の高い素材として、日本では、活用されてきました。

伝統的な日本家屋にはいたる所に竹が使われていました。また、竹は古来から積極的に日本各地に植えられ、手入れの行き届いた竹林は、美しい風景をかたちづくってきました。

しなやかでいて強く、多岐にわたる用途に活用できる竹は、まさに自然からの恵みであり、日本文化の伝承や人々の暮らしに欠かせない植物です。 **しかし、・・・**



竹害

- 元来繁殖力が異常に強い樹種である孟宗竹は、これによって竹林の周囲に無秩序に進出し、既存の植生を破壊していった。孟宗竹が進出するとアカマツやクヌギ、コナラなどかつて里山で優勢であった樹種が置換され、生態系が単純化してしまうことや、孟宗竹は土壌保持力が低いいため崖崩れが起きやすくなるなど、各種の害が発生することが現在問題視されている。（以上、「ウキペディア」より）



「共助研」でも、大分長谷地区で、里山保全の観点から、竹を伐採し、チップ等にする作業を行っています。

でも、竹は魅力ある素材には間違いない！

バンブーギターの紹介

バンブーギターとは

八女市立花町に繁茂する大口径孟宗竹の硬質部分に弦楽器の素材としての可能性を見出した*中山修が、13年の歳月をかけて開発した遠達性のある演奏会用の竹製のクラシックギター、特許第4414483号。主な特徴は①弾性波速度の速い竹の硬質部分に対応した接着剤の使用。②乾燥収縮に依る竹特有の湾曲を直交異方性の合板を作成する事で解決。③竹の弾性係数大なるが故に音の遠達性が高く、加えて音質の煌びやかなること。④ナルシソイエペス氏が*中山修に残した遺言『ネックから音の出るギターを造れ！』の実現がミッションのゴール。



バンブーギター開発の経緯

話は半世紀ほど前へ遡る…小原安正氏の指導を得て早稲田大学2年生時、19歳でスペインに渡った*中山修は、ナルシソ・イエペス氏に奏法を、ラミレスⅢ世にクラシックギター製作をそれぞれ9年間学び、帰国後ギタリスト&製作家として活躍した。芸術家としての全盛期、30代後半に交通事故で両手首を骨折、ギターに対する燃える思いを泣きながら封印、20年が経過する。そして断ちがたい夢を捨て切れず、60歳を目前に不死鳥のごとく蘇り、バンブーギターの開発に全力投球。2009年8月に筆者が特許申請し、2009年11月、異例のスピードで特許化された。

バンブーギターは八女市の名と共に海を渡り、過去4年間、毎年韓国政府に招待され、異国のギター展示会に出展、外国人ギタリストの高い評価を得ている。



竹の原産地、八女市の市長も応援！！



八女市で生まれた世界でオンリーワンのバンブーギター。
我々は和魂洋才の新しいクラシックギターの発展を応援
しております。

八女市長 三田村統之



ふるさとへの感謝と誇りと愛着。そして、未来へ。

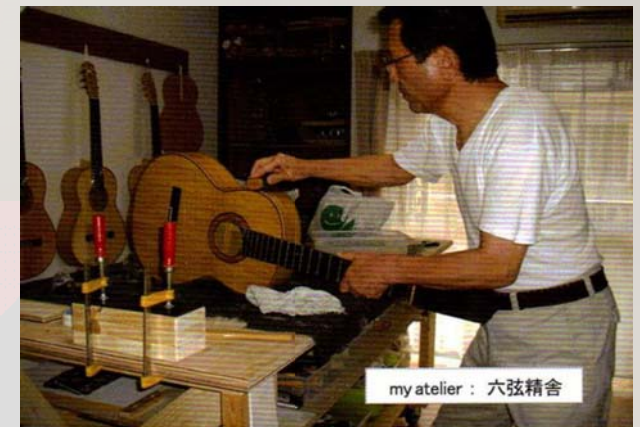
八女市は市制施行 60 周年・合併 5 周年を迎えました。



ギター製作の現場（前田氏ギター工房 六弦精舎）

- 土木技術者としての感性を活かしたギターづくり
- 応力計算、設計図作成、材料力学的な知見など、ギター製作家が経験に頼っているところを、一気に土木工学的な発想で取り組んでいます。
- モノづくりへのこだわり！ 半端じゃない！

前田工房をちょっと拝見



前田工房「 六弦精舎 」の入り口





おおお！ やってますねえ！！

読売新聞 筑後かわらばん

2012年(平成24年) 9月29日 土曜日 第296号

バンブーギター 進化中
BAMBOO GUITAR

竹の音色プロも魅了

城島町の中山さん製作11年

八女に養成教室

スペインで演奏と工房修行

筑後

久留米支局
TEL 0943-541113
FAX 0943-59-0800
久留米市藤山町
の100-200

大牟田支局
TEL 0944-52-2001
FAX 0944-51-0804
大牟田市藤山町
101-100

熊本市支局
TEL 094-22-2007
FAX 094-22-0804
熊本市藤山町
101-100

熊本市支局
TEL 094-22-2007
FAX 094-22-0804
熊本市藤山町
101-100

きょうの天気

6-10時	晴	最高気温	22-24度
11-15時	晴	最高気温	22-24度
16-18時	晴	最高気温	22-24度
19-21時	晴	最高気温	22-24度
22-24時	晴	最高気温	22-24度

福岡 八幡

福岡	八幡	最高	21度
福岡	八幡	最低	16度
福岡	八幡	最高	21度
福岡	八幡	最低	16度
福岡	八幡	最高	21度
福岡	八幡	最低	16度

筑後

筑後市議会議員選挙の結果は、11月11日の投票日、市民会館で開票結果が発表された。筑後市議会議員選挙の結果は、11月11日の投票日、市民会館で開票結果が発表された。



孟宗竹ギター お披露目

八女特産の孟宗竹を使った竹製のクラシックギターづくりに取り組んでいるプロジェクトの初めての作品発表会が21、22日、八女市本町の市民会館（約1,200人）で開催される。一般的な木製ギターと違って、鋼い、きらびやかな音色が特徴だという。入場無料。

プロジェクトの中心人物は、久留米市城島町に、13年前に引っ越してきた。材料は八女市立花町産の孟宗竹。クラシックギターの材料であるドイッやマホガニーなどが高騰して入手が難しく、新たな竹材利用の一環として、八女特産の孟宗竹を利用した。

竹は反りやすく、そのため、楽器の胴部分だけを切り出し、張り合わせ材に仕立てる。製法は2009年に、特別も取得した。製作期間は約2年。勝負どける。ピアノのように響く音が生まれる。

音きらびやか 八女であすから

筑後市議会議員選挙の結果は、11月11日の投票日、市民会館で開票結果が発表された。

私は竹です、イネ科です。

加工されたものは、

食品、肥料、工芸品に分かれております。

工芸品の中には音を発するものがあり、

吹くものと叩くものに分かれています。

私は、竹仙人の手で加工され、

新たに言葉を発するものに生まれ変わりました。

言葉とリズムを発する弦楽器として

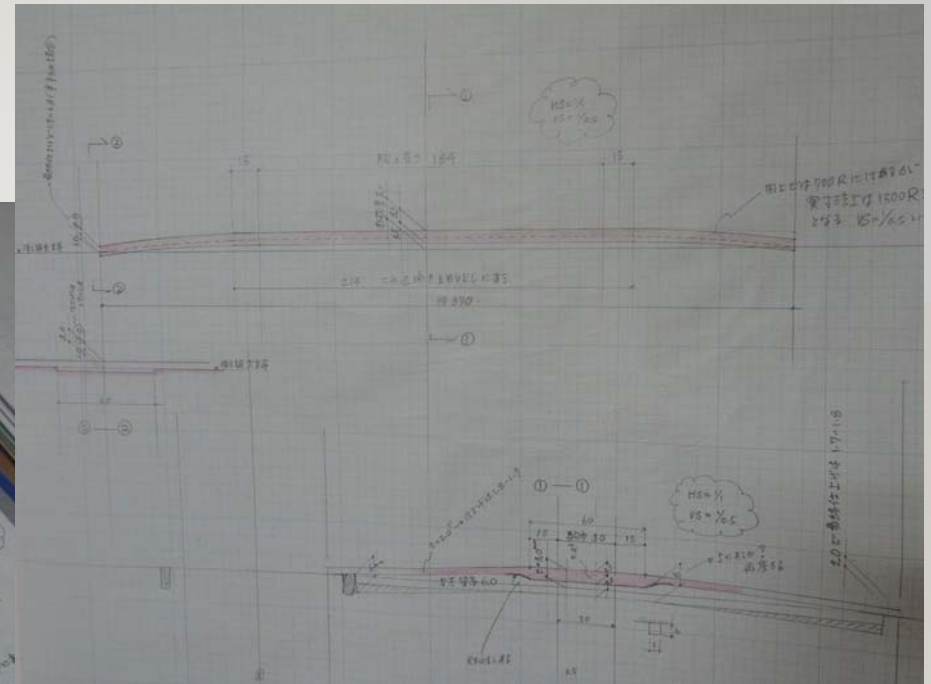
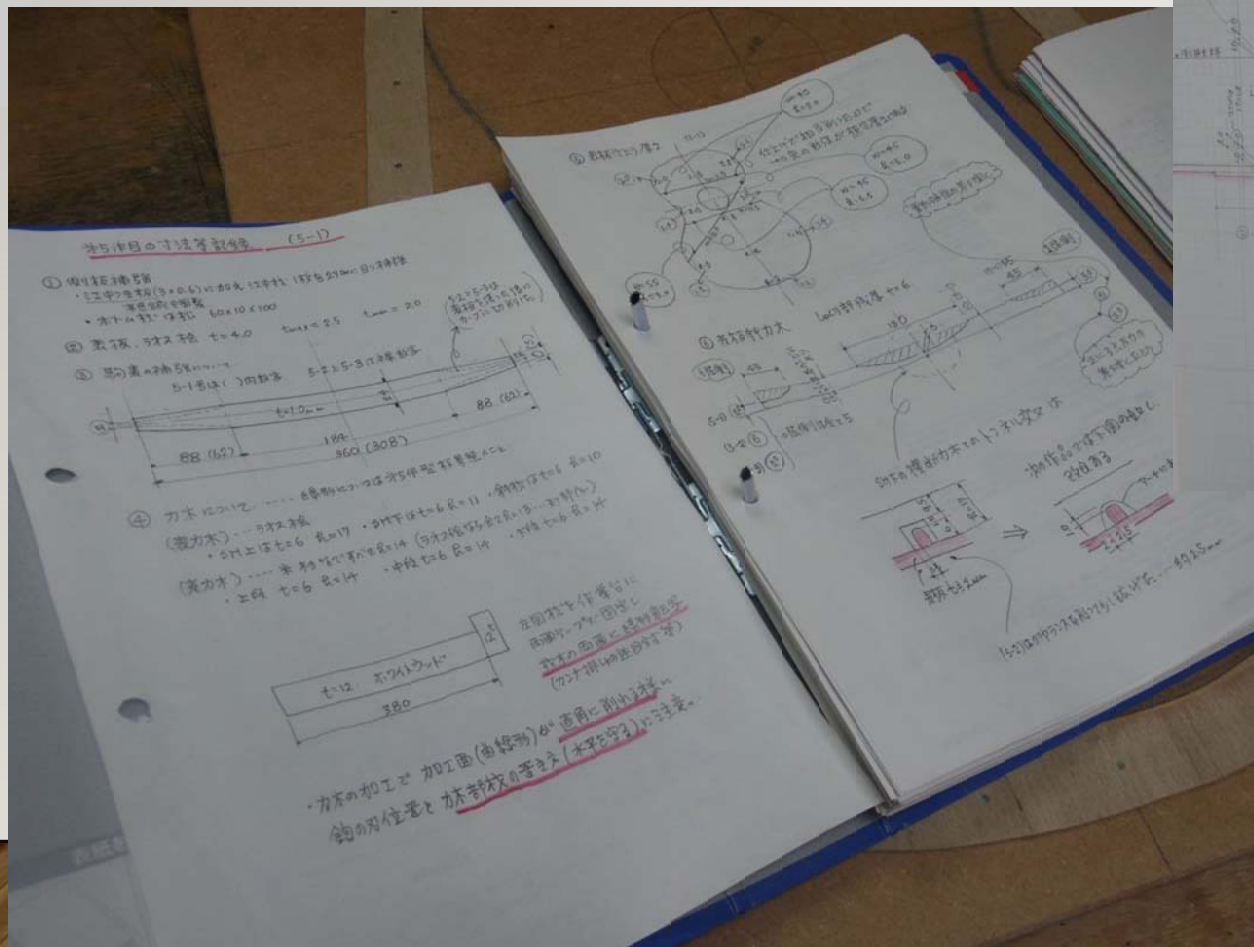
生まれ変わったものが、バンブーギターです。

どうぞ、私の想いを皆様に分けて下さいます。

嬉しさよ我の心にあり、人に愛を与えるかな

夢ひらく、バンブーギター 音、小鈴

ギター製作の設計図、ちと拝見



前田氏の工房で練習



弦楽器フェアへの出展風景



クラシックギター フェスタ 2016 in 大阪港南ATC にて

第58回弦楽器フェアにて
左は中山修氏。中央は、ストラビバリ
ウスモデルの巨匠Stefano.Comia氏

本業 + ギター製作 + ギター練習 + 酒飲み！！！！

姪浜の食堂でのライブ風景



本業の仕事やギター製作を行いつつ、毎月2-3回程度の練習を行っています。

ただ、練習後の一杯のほうがメインになることもたびたび・・・・・・・・

姪浜の床屋さんでのライブ風景



共助研活動にも一役買っています

- 大分県豊後大野市長谷地区、長崎県奥雲仙の地域づくり活動の現場にも、バンブーギターを持参し、地元の方々とのコミュニケーションにも大活躍。
- 長谷地区の地元の竹で横笛を作っているM氏も、興味津々！！！！



おまけ
矢ヶ部のギター活動



久留米市夏祭り参加風景

春日市ロビーコンサート風景



若葉高校ギター部の指導風景

これからの夢・・・・・

前田氏の夢

孟宗竹の合板材料がギター界で普及し始めれば、里山で竹材の管理伐採が行われ、子供の頃のあの美しい原風景が蘇ってくるかも知れません。日本を代表する竹材で目指す音響のバンブーギターが完成したら本場スペインで展示会を開催したいものです。

矢ヶ部の夢

共助研の音楽班長として、デュオ・アルゲンテウスの一員として、そして、土木技術者として、地域づくりに関わる役割を果たしながら、楽しくギター弾いたり、お酒を飲んだり、みんなと語り合いながら、一日一日を大切に生きていきたい、です。

